

高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第37週 （9月12日～9月18日）

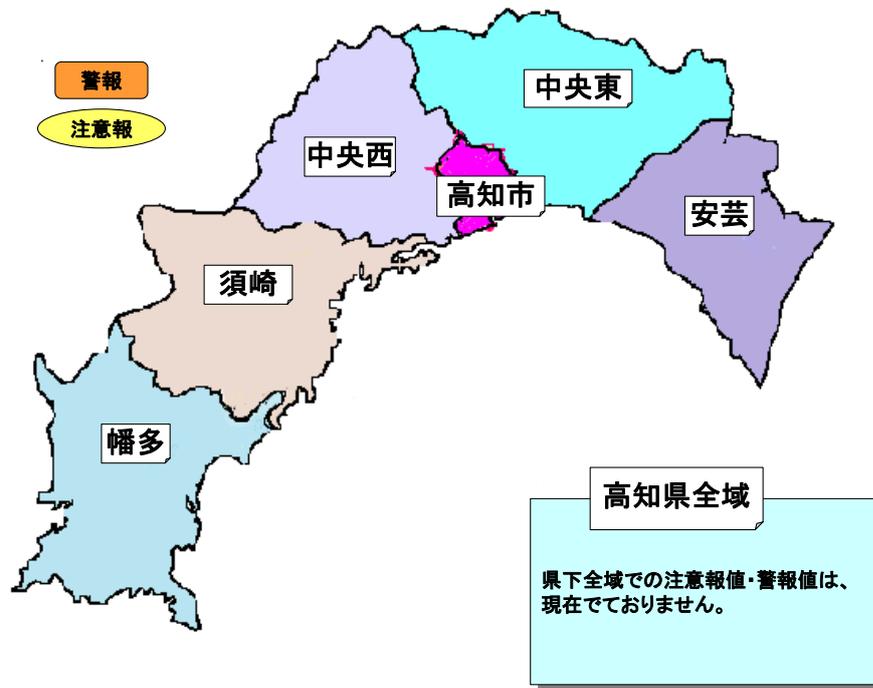
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増
 ↗：増加
 →：横ばい
 ↘：減少
 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	→	2.30	中央東、中央西で急減していますが、安芸で急増、幡多で増加しています。
感染性胃腸炎	→	1.89	中央東で減少していますが、安芸、須崎、幡多で急増しています。
手足口病	→	0.59	須崎、幡多で急減していますが、中央東、中央西で急増しています。
ヘルパンギーナ	↗	0.19	県全域、高知市で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	0.11	県全域、高知市で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- ・普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴム紐を耳にかける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○RSウイルス感染症に気を付けて！

この病気は2日～1週間（通常4～5日）の潜伏期間の後に、軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多いため、気が付かずに感染源となることがあります。また、高齢者では急性の、しばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、長期療養施設では集団発生への注意が必要です。

早産児や慢性呼吸器疾患を有するハイリスクな乳幼児の重症化を予防する方法として、パリビズマブ（抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体）の投与があります。（本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮することとされており、保険適用となっています。）

また、同じ呼吸器感染症でヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症があります。

免疫を獲得しづらいため再感染を頻繁に起こします。有効なワクチンはまだありませんので、感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

国内では、流行時期に高齢者施設などでhMPVを原因とする呼吸器感染症の集団発生が散見されていますので注意が必要です。



<予防方法>

- ・現在、ワクチンはありません。
- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

第37週に須崎保健所から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」の発生届が1例、高知市保健所から「日本紅斑熱」の発生届が3例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち上がったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	47	30歳代 男性	高知市
		1		70歳代 女性	
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	4	80歳代 女性	須 崎
	日本紅斑熱	1	8	60歳代 男性	高知市
		1		60歳代 男性	
1	80歳代 女性				
5類	梅 毒	1	32	30歳代 男性	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 2例 (8か月女、1歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	サルモネラ腸炎 1例 (5歳女) カンピロバクター腸炎 1例 (3歳女)
	高知大学医学部付属病院小児科	RS ウイルス肺炎 1例 (0か月男)
	早明浦病院小児科	COVID-19 6例 (2歳女、8歳女、9歳女、11歳女2人、13歳女) hMPV 感染症 1例 (1歳女)
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 4例 RS ウイルス気管支炎 1例
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス 4例 (10か月男、1歳男、2歳男、4歳女) hMPV 3例 (1歳男、2歳男2人)
	けら小児科・アレルギー科	RS ウイルス気管支炎 13例 (0歳6人、1歳3人、2歳、3歳、4歳2人)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 1例 手足口病 5例 ヘルパンギーナ 3例
	ふないキッズクリニック	hMPV 感染症 2例 (1歳男、2歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	手足口病 1例 (2歳：仁淀川町)
須 崎	もりはた小児科	COVID-19 以外は膠着しています
幡 多	さたけ小児科	hMPV 4例 (1歳女2人、2歳男、3歳男) RS ウイルス 2例 (1歳男、2歳男) COVID-19 16例 (0歳～16歳)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 感染症 6例 (1か月女、1歳女2人、2歳女、3歳男2人)

★県外で注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは抗体検査で確認することができます。赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種をうけることをご検討ください。

風しんは、今は成人に多い病気で、特に10代後半から50代前半の男性、20代から30代の女性が多く発病しています。

特に昭和54年4月2日から平成7年4月1日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。このことから、風しんの追加対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性には2023年3月31日までの間、無料の抗体検査及び予防接種（抗体検査で陰性の方を対象とする）が受けられるクーポン券が住民票のある市町村役場から発行されます。対象者の方は、まずは抗体検査の実施をお願いいたします。クーポン券の発行等についてはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

【無料の風しんの抗体検査について】

- 対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
 ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後 1～2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

- 風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	県外	総計
8月	22	月	54	126	706	63	57	50	4	1,060
	23	火	101	220	1049	275	109	196		1,950
	24	水	132	335	1052	147	120	242		2,028
	25	木	106	254	998	174	108	174		1,814
	26	金	108	302	997	137	106	151	1	1,802
	27	土	101	335	986	141	87	177		1,827
	28	日	36	294	905	113	69	87		1,504
	29	月	12	111	200	40	30	65	1	459
	30	火	99	246	615	207	69	226		1,462
	31	水	62	233	732	109	86	115		1,337
9月	1	木	50	164	621	141	87	82		1,145
	2	金	35	150	566	110	68	87		1,016
	3	土	48	144	349	100	64	89		794
	4	日	16	92	388	69	34	58		657
	5	月	9	65	281	31	26	17		429
	6	火	40	157	356	109	40	136		838
	7	水	18	165	399	65	66	84		797
	8	木	24	163	501	68	69	62		887
	9	金	22	120	471	79	55	78		825
	10	土	21	143	357	64	58	82		725
	11	日	17	86	266	33	31	45		478
	12	月	3	38	140	24	15	21		241
	13	火	34	103	380	94	70	135		816
	14	水	20	132	389	64	73	80		758
	15	木	11	77	276	46	50	55		515
	16	金	19	60	207	46	42	72		446
	17	土	13	62	206	32	30	65		408
	18	日	10	47	165	25	29	35		311
総計			3,694	15,624	54,246	9,054	5,436	8,757	132	96,943

数字は各地域でその日陽性が確認された数
 総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
 TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは 2022 年 9 月 20 日現在の情報により作成
 しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
 りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(56定点医療機関)

定点名	保健所	第37週 令和4年9月12日(月)～令和4年9月18日(日)							高知県衛生環境研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) R4/1/3～R4/9/18	全国(36週末累計) R4/1/3～R4/9/11
インフルエンザ	インフルエンザ		1					1 (0.02)	()	133 (0.03)	14 (0.30)	1,929 (0.39)
小児科	咽頭結膜熱					1	1	2 (0.07)	3 (0.11)	186 (0.06)	278 (9.93)	20,582 (6.55)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2		1		3 (0.11)	1 (0.04)	894 (0.29)	232 (8.29)	34,621 (11.03)
	感染性胃腸炎	8	9	26		4	4	51 (1.89)	45 (1.67)	6,704 (2.15)	2,812 (100.43)	459,520 (146.34)
	水痘			1				1 (0.04)	4 (0.15)	156 (0.05)	95 (3.39)	8,084 (2.57)
	手足口病		4	11	1			16 (0.59)	17 (0.63)	11,774 (3.77)	159 (5.68)	105,678 (33.66)
	伝染性紅斑		1		1			2 (0.07)	()	58 (0.02)	15 (0.54)	1,427 (0.45)
	突発性発疹						1	1 (0.04)	3 (0.11)	847 (0.27)	330 (11.79)	34,798 (11.08)
	ヘルパンギーナ			5				5 (0.19)	4 (0.15)	2,749 (0.88)	69 (2.46)	24,302 (7.74)
	流行性耳下腺炎							()	()	111 (0.04)	21 (0.75)	3,278 (1.04)
	RSウイルス感染症	6	3	38			15	62 (2.30)	52 (1.93)	4,978 (1.60)	404 (14.43)	78,513 (25.00)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	()	112 (0.16)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	130 (0.19)	16 (5.33)	4,230 (6.11)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	5 (0.63)	209 (0.44)
	無菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	()	279 (0.58)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	5 (0.01)	5 (0.63)	228 (0.48)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	()	20 (0.04)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	8 (1.00)	78 (0.16)
計 (小児科定点当たり人数)	14 (7.00)	18 (2.52)	83 (9.22)	2 (1.00)	6 (3.00)	21 (4.20)	144 (5.32)			28,745	4,463 (157.99)	777,888
前週 (小児科定点当たり人数)	2 (1.00)	26 (3.71)	80 (8.77)	2 (1.00)	2 (1.00)	18 (3.60)		130 (4.79)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	保健所	第37週							高知県衛生環境研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) R4/1/3～R4/9/18	全国(36週末累計) R4/1/3～R4/9/11
インフルエンザ	インフルエンザ	0.09						0.02		0.03	0.30	0.39
小児科	咽頭結膜熱					0.50	0.20	0.07	0.11	0.06	9.93	6.55
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.22		0.50		0.11	0.04	0.29	8.29	11.03
	感染性胃腸炎	4.00	1.29	2.89		2.00	0.80	1.89	1.67	2.15	100.43	146.34
	水痘			0.11				0.04	0.15	0.05	3.39	2.57
	手足口病		0.57	1.22	0.50			0.59	0.63	3.77	5.68	33.66
	伝染性紅斑		0.14		0.50			0.07		0.02	0.54	0.45
	突発性発疹						0.20	0.04	0.11	0.27	11.79	11.08
	ヘルパンギーナ			0.56				0.19	0.15	0.88	2.46	7.74
	流行性耳下腺炎									0.04	0.75	1.04
	RSウイルス感染症	3.00	0.43	4.22			3.00	2.30	1.93	1.60	14.43	25.00
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.16
	流行性角結膜炎								0.33	0.19	5.33	6.11
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.63	0.44
	無菌性髄膜炎									0.01		0.58
	マイコプラズマ肺炎									0.01	0.63	0.48
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										1.00	0.16
計 (小児科定点当たり人数)	7.00	2.52	9.22	1.00	3.00	4.20	5.32			157.99		
前週 (小児科定点当たり人数)	1.00	3.71	8.77	1.00	1.00	3.60		4.79				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第37週)

